

J A あづみ創立 60 周年記念企画

「55 年目の発掘と褒賞 “第 2 期” ～安曇野の大地への愛と誇りを～」実施要項 ～「拾ヶ堰」の偉業を成し遂げた不撓不屈の安曇野スピリットに脱帽～

1. 趣 旨

「55 年目の発掘と褒賞」は JA あづみ創立 55 年を節目に 3 年実施し、多くの組合員の皆様に好評を得た。しかし 3 年間では候補者を拾得きれず、発掘人材はまだまだ多く残されている。「55 年目の発掘と褒賞」を継続企画“第 2 期”として創立 60 年に向け、更に 3 ヶ年にわたり選出募集を行う。

J A あづみ創立 60 周年を 3 年後に迎えるにあたり、たゆまぬ研究による著しい成果と功績。また、安曇野の郷土の農業に挑戦する後継者の熱き想い。安曇野で農業を営む暮らしを始めた新たな担い手の夢と希望。この先駆的な取り組みなど幅広い世代層にスポットをあて、安曇野の今後の農業振興に繋げていくことを目的とする。

この褒賞を通じ、生産者はもとより、消費者をはじめとした地域住民に「安曇野の農業」を支えている生産者への感謝の想いと、農業への関心をさらに高めてもらうために標記企画を実施する。

2. 実施期間 令和 5 年度より 3 ヶ年

3. 選出期間（予定）

【令和 5 年度】 令和 5 年 3 月～5 月末日まで

【令和 6 年度】 令和 6 年 3 月～5 月末日まで

【令和 7 年度】 令和 7 年 3 月～5 月末日まで

4. 選出対象者（性別・年代問わず）

- (1) 農業を営む者や地域の農業振興等に寄与し地域農業を牽引している者。
- (2) 科学的・学問的に分析しながら探究心をもって日夜研鑽している者
- (3) 環境に配慮した有機栽培等を実践している者
- (4) その他、安曇野の農業振興や農業の魅力の発信等に多大なる功績がある者

5. 選出区分

(1) 「農業大賞（研究開発賞）」

肥料、種子、作型等の分野で研究や挑戦、改良等の著しい成果を上げた者やその成果で地域の農業を牽引している者。

(2) 「後継者大賞」

後継者不足の中、農業の大切さを認識し、高い志をもって農業振興に取り組む若い世代の農業者で、数年後、地域の担い手として活躍が見込める者。

(3) 「未来開拓賞」

I ターンなどで新規就農を始めた者

(※新規就農者…概ね就農 5 年未満の親元、UIJ ターン、新規参入等)

(1)～(3)の選出区分を原則とし、次の取組み内容も選考及び審査の評価対象とする。

- ・各種媒体等を活用し「安曇野の農業」の魅力を広く発信している取組み
- ・温暖化等の気象変動への対応技術の実践をしている取組み

6. 選出方法

組合員、並びに J A 職員による一人一名の選出方式を基本とする。選出にあたっては、以下の点に留意する。

- (1) 組合員やその家族、一人ひとりを深く観察し、日本の食のために努力を重ねている農業者を選出する。
- (2) 選出者の家族、友人、隣人などからの推薦（支持）を重視する。
- (3) 提出様式

別紙 1 推薦書（かがみ）

別紙 2 推薦調書

7. 選考方法

J A あづみ代表理事組合長（千國 茂）を J A あづみ創立 60 周年記念企画実行委員長とし、選考委員会を構成する。（選考委員：別添名簿）

なお、選考委員長には当企画の提案者である河崎義祐 氏（映画監督）に委嘱し、厳正な選考を行う。

8. 表 彰

農家組合長研修会（各年 6 月開催）の席上において、3 名（各年）を選考委員長より表彰する。また、褒賞受賞者には、賞状並びに副賞を授与する。

要件として、表彰に伴う経営発表を以て贈呈する。なお、受賞者の推薦人にも記念品を贈呈する。

9. 担当部署 J A あづみ営農経済事業部 農業企画課

附則

この要項は令和 5 年 3 月 31 日より施行する。

この要項は令和 6 年 3 月 1 日より改訂する。